

科目名	映像リテラシー B 2							年度	2025
英語科目名	Image Literacy B2							学期	後期
学科・学年	放送芸術科 1 年次	必／選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	根岸史人	教員の実務経験		有	実務経験の職種		放送業務		
【科目の目的】									
将来放送業界に進む学生に、TV放送における音声業務の役割を理解してもらう。 最低限の音声技術に関する知識を身に付けてもらい、番組制作の過程で音に関することの準備・対応が出来るようになってもらい、音の視点から業界全体の事を学び、自身の進む分野へ活かしてもらう。									
【科目の概要】									
TV、映画などにおける、カメラ、音声、照明、編集、制作、美術などの基礎的知識を学びます。									
【到達目標】									
放送業界へ進むにあたり、最低限の音声技術に関する基礎知識を身につけ、番組制作の過程で音に関することの準備・考えることができるようになることが目標である。音の分野の視点から、業界全体のことを学び、自身の進む分野への活用方法を見出す。									
【授業の注意点】									
キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル 3 優れている	レベル2 ふつう	レベル 1 要努力						
到達目標 A	映像に関わる音の職種の違いを理解していて、音の三要素について説明ができ、簡単なデシベル計算ができる	映像に関わる音の職種の違いを理解していて、音の三要素についても説明ができる	映像に関わる音の職種について理解できていない						
到達目標 B	マイクروفオンの指向性、ダイナミック・コンデンサーの違い、近接効果について理解している	マイクروفオンの指向性理解しており、ダイナミック・コンデンサーの違いがわかる	マイクروفオンの指向性を理解していない						
到達目標 C	マイクレベルとラインレベルの違いを理解し、HAの役割を説明できる	マイクレベルとラインレベルの違いを理解している	マイクレベルとラインレベルの違いを理解していない						
到達目標 D	タイムコード、納品フォーマットを理解し、MAのワークフローが説明できる	MAのワークフローが説明できる	ポストプロダクションにおけるMAの役割を理解していない						
到達目標 E	音声調整卓を理解し、エフェクタなどの機材に関しても把握しており、アナログ、デジタルの違いを説明できる	音声調整卓の役割を理解し、エフェクタなどの機材に関しても把握している。	音声調整卓の役割について理解をしていない。						
【教科書】									
資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】									
試験と課題を総合的に評価する。自己分析シート提出。積極的な授業参加度、授業態度によって評価する									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		映像リテラシーB 2			年度	2025
英語表記		Image Literacy B2			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	TV音声スタッフの役割と仕事内容	映像業界における、音に関わるスタッフの業務内容を理解する。	1 オリエンテーション	音の基礎知識を学ぶ意味を理解する	1	
			2 職種について	職種を理解し、それぞれの役割を理解している		
2	音の基礎知識（音の三要素とデシベル）	音とは何か？を知る。	1 音の三要素	音の三要素とは何かを理解している	1	
			2 周波数	周波数とはどのようなものかを理解している		
			3 デシベル	デシベルという単位を理解している		
3	マイクrophonについて①	音を收音するためのマイクの特徴を理解する	1 マイクの駆動原理	マイクrophonの駆動原理について理解している	1	
			2 ダイナミック・コンデンサーとは	ダイナミックマイクとコンデンサーマイクの違いを理解している		
			3 マイクの指向性	指向性の種類、違いを理解している		
4	マイクrophonについて②	映像業界で一般的に使用されているマイクを覚える	1 近接効果	近接効果を理解している	1	
			2 マイクの種類紹介	マイクの種類、それぞれの特性を理解している		
			3 バウンダリーマイク	バウンダリーマイクとはどのようなものか理解している		
5	マイクレベルとラインレベルとは？	電気信号としての音の大きさを理解する	1 HA（ヘッドアンプとは）	HAが何かを理解している	1	
			2 マイレベルとラインレベル	マイクレベルとラインレベルについて理解している		
			3 音の心理効果	音の心理効果について理解している		
6	音の信号伝送	音の伝送方式を理解する	1 アンバランス伝送	アンバランス伝送について理解している	1	
			2 バランス伝送	バランス伝送について理解している		
			3 位相について	位相について理解している		
7	各種コネクタと使用機器について	各種コネクタ、使用機器を覚える	1 各種コネクタ	各種コネクタの使用用途を理解している	1	
			2 音声信号のメーター機器	各種音声信号メーターを理解している		
			3 ラウドネス	LOUDネスメーターの役割を理解している		
8	オーケストラ編成から読み解く 楽器の基礎知識	音楽的視点から音を理解する	1 楽器の略式記号	楽器の略式記号を理解している	1	
			2 オーケストラの配置	オーケストラの一般的な配置を理解している		
			3 楽器の音を理解する	楽器の音を聞き、どの楽器かを理解している		
9	音声用語（技術・演出用語）	番組演出に必要な技術用語・演出用語を理解する	1 フェーダー操作	フェーダー操作について理解している	1	
			2 技術用語	音に関わる技術用語について理解している		
			3 モノラル・ステレオ・サラウンド	モノラル・ステレオ・サラウンドの違いを理解している		
10	MAの基礎知識	MAのワークフロー、必要性について理解する	1 MAの目的	MAの目的を理解している	1	
			2 MAワークフロー	MAのワークフローを理解している		
			3 音響効果	MAでの音楽・効果音の挿入の演出について理解している		
11	ポストプロダクションにおけるタイムコードの基礎知識	タイムコードと納品フォーマットを理解する	1 タイムコード	タイムコードについて理解している	1	
			2 納品フォーマット	各種納品フォーマットについて理解をしている		
12	音声信号の デジタルとアナログについて	音のアナログとデジタルを理解する	1 アナログとデジタルの違い	音のアナログとデジタルの違いを理解している	1	
			2 A/D, D/A変換	A/D, D/A変換を理解している		
			3 デジタル信号の変換	デジタル信号への変換方法を理解している		
13	音声調整卓 の 基本的役割	音声調整卓の役割を理解する	1 アナログコンソール	アナログコンソールについて理解している	1	
			2 デジタルコンソール	デジタルコンソールについて理解している		
			3 収録チャンネルに関して	音声収録のch分けについて理解している		
14	音声卓の付帯機器 外部接続機器の役割	エフェクターについて理解する	1 EQ	イコライザーについて理解している	1	
			2 Comp	コンプレッサーについて理解している		
			3 リバーブ	リバーブについて理解している		
15	総復習	学んだ内容を復習し、理解を深める	1 各回のポイント資料を	音声基礎の授業内容を理解している	3	

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等